

区政に届け！オンライントーク 記録（概要）【R7.1.31 開催分】

1 日時

令和7年1月31日（金）19時～20時26分

2 テーマ

「これからの広聴のあり方～届けたい！わたしたちの声～」

【応募要件（参考）】

- ・18～29歳の区内在住の方
- ・オンライン会議ツール（Zoom）を使用できる方

3 出席者

参加者10名、区長、区長室長、政策経営部長、広報課長

4 次第

- （1）開会
- （2）区長あいさつ
- （3）区長説明（テーマについて）
- （4）意見交換
- （5）区長あいさつ
- （6）閉会

5 意見交換の概要

《個別広聴・集団広聴・オンライントークについて》

（1）個別広聴について

●参加者

「区長へのはがき」の認知度を高めるために区内小学校等に置いてみては。

○区長

現状、学校には置いていないので、子どもや保護者の方に広く知っていただくという視点で参考とさせていただきたい。

●参加者

区が実施した北区内共通デジタル商品券「しぶさわくん pay」の購入条件として区公式 SNS のフォローを設定してはどうか。フォロワー数が増加すれば、区側の SNS 活用によって区民の声を聴きやすくなるのではないかな。

○区長

今の時代、SNS の活用は重要だと考えている。その中で SNS のフォローを条件にしていくというのは面白いアイデアだと思う。ちなみに SNS で皆さんが一番見ているものは。

●参加者

Instagram、X が多い。Facebook は年代的に少し上の感じがする。

●参加者

区民が意見を主張するのは結構ハードルが高い。まずは区のイベント等に参加して、区民意識を持ってもらうことが第一歩になるのでは。

○区長

皆さんの中で、これまで区主催のイベントや事業等に関わったことがある方は……。やはり皆さん今回が初めてということで。若い方たちに参加してもらえイベントを増やすために、なにかご意見があれば。

●参加者

今回のオンライントークのように参加者の年齢層が決まっていると参加しやすい。

北区内に漫画やアニメの聖地があれば、それに関連したイベントでたくさん人が集まるのでは。

区主催のスポーツイベントは親子向けのものが多いので、若者向けのものがあってもよいのでは。

大学のサークル活動などの発表の場として、区民まつりや区のイベントがあると若者と区の接点が生まれるのでは。

○区長

区役所もそうだが、北区はドラマ等の撮影に使われることが多い。アニメ等の舞台になっているところもあるので、もっと発信していき、聖地巡礼・聖地イベントといったアイデアは参考にさせていただきたい。

スポーツイベントについては、若い方向けの発信をあまりしていないため、今後検討していきたい。

大学生と区の接点については、区の大学連携施策の中で検討していきたい。

●参加者

区にメールで届いた区民の意見は公開されているのか。

○区長

いただいたご意見とそれに対する区の考え方について、一部を区 HP に掲載している。

●参加者

広く公開されて目にすることができれば、「こんな感じの軽い・身近な質問をしてもいいんだな」と安心するので、質問や意見を言いやすくなると思う。

○区長

今のご意見、他の参加者の方も頷いている方が多かったので、皆さん同じご意見をお持ちのように感じた。SNS をさらに活用して、区民の方がどんな問い合わせで、どんな回答があったかというのが簡単に見ることができるようなればいいと。大変参考になった。

●参加者

高校の授業の、一コマを使って、クラスのみんなで区政について話し合っ、意見を出し合うような取組があってもいいのでは。

○区長

高校生の皆さんだと、個別に区に対して意見するよりも、クラスのみんなで話し合ったりする方が意見がたくさん出ると思う。

機会を見て区の方からもアプローチしてみたい。

(2) 集団広聴について

●参加者

参加者が学生であれば、会議への参加が評価される仕組みを作るとよい。また、参加者にしか配られない認定バッジのようなグッズがあれば、会議に参加したくなるのではないかな。

○区長

北区役所からもらった認定書のようなものを学校で評価してもらえる仕組みづくりというのは面白い発想。バッジやシールといったグッズについても検討してみる。

●参加者

北区への関心がもっと高まれば、集団広聴の会議参加者が増えるという視点から、北区民のアイデンティティ、一体感を醸成していくことが重要だと思う。そう考えたときに北区のブランディングに関する取組が必要だと思う。

○区長

皆さん、北区といえば何を思い浮かべるか？区内には産業遺産や文化財指定を受けてる建物等がいくつかあるが、渋沢関連のものも含めて、あまり発信できてない部分もある。北区民のアイデンティティ確立ということで、区としても大きな課題だと捉えており、令和7年度は力を入れて取り組む予定。

●参加者

ブランディングという視点で、赤レンガ酒造工場などをもっと発信してもいいのでは。

○区長

国の施設なので、国やイベントなどを実施している観光協会と連携しながらPRしていきたい。

●参加者

会議参加者へのメリットとして、学生目線で考えると、放課後によく遊ぶカラオケやゲームセンターで利用できる割引券とかをもらえると嬉しい。

○区長

割引券という形だと、どの店舗で使えるかということもあるので、今後、地域通貨のようなものを作った場合、ポイント還元みたいな形ができたらと思う。

●参加者

区内施設の割引みたいなものがあると嬉しい。

○区長

区有施設の利用促進にもつながるので素敵なアイデアだと思う。

●参加者

会議参加者からの友達紹介制度があったらそれをきっかけとして広がっていくのではないかな。

○区長

面白いアイデア。紹介者にも紹介された方にも特典がある仕組みをよく見るので、参考にさせていただく。

●参加者

参加者を増やすためのアプローチとして、傍聴参加を認めてはどうか。興味はあるが、発言するのはハードルが高いという人にも参加の機会があると、段階を踏んで参加者増につながるかもしれない。

○区長

たしかに発言を求められるというのはハードルが高いかもしれない。事業によっては傍聴枠のようなものも検討していきたい。

(3) オンライントークについて

●参加者

今回の開催時期、実は大学の試験が迫って、難しい時期だったので、そのあたりも考慮して時期を設定していただけるとありがたい。

○区長

お忙しい中ご参加いただき感謝したい。

ちなみに、開催の時間帯はどうだったか？ そうですか。皆さん問題なかったということで。また、参加人数についてもご意見を伺いたい。なるほど、皆さん今回の人数、10人くらいがちょうどいいということで。

最後に、今後のオンライントーク、こんなテーマで話したいという意見があればお聞きしたい。

●参加者

地域活性化。

区内の治安。

S D G s。